

みさかえの園だより

第7号 2009年7月
発行所
社会福祉法人 聖家族会
発行責任者 中山和子
編集 総合活動企画委員会
☎859-0167長崎県諫早市
小長井町遠竹2747-6
☎ 0957 - 34 - 4520
FAX 0957 - 34 - 4521
[年2回(7月 / 1月)発行]

みさかえの園後援会 故 中部長次郎会長を偲んで

理事長 中山 和子



去る三月十一日「みさかえの園後援会」の会長として、永い間・・・温かいご協力、ご援助を賜りました。中部長次郎様が帰天されました。

みさかえの園の福祉事業に深いご理解を頂いて永い間物心両面からお助けとお力添えを頂いておりました。会長のご帰天は真に大きな悲しみでございます。心からご冥福をお祈り致します。

新聞で詳しく報じられておりましたように、長崎商工会議会頭、大洋漁業常務取締役及び長崎支社支配人、長崎倉庫、長崎放送の社長、長崎新聞社の取締役、県貿易

協会等の会長としても活動され、貿易振興や国際交流にも貢献されました。

みさかえの園各施設の利用者の方々や職員の方々は、毎年クリスマスと夏の納涼大会の時のお料理の中に、ソーセイジがいつも出されていたことを覚えておられると思います。これは故中部長次郎様からの贈り物でございます。

私が最後にお会いいたしましたのは、平成十九年十一月六日長崎県共同募金会において共同募金運動に協力した団体や個人

の表彰式が行われ、当法人も表彰されました。その表彰式を行われたのは、共同募金会会長の中部長次郎様でした。

その日の大会終了後、急に中ぶ会長に呼び止められ、シスター廣沢とおそばに参り、解らないままに立ちましたら、中ぶ会長も一緒に立たれ、どなたかに合図をされて撮られたのがこの写真です。会長とこの一揃の最初で最後の写真となりました。

亡き中ぶ会長に心からの感謝をお捧げいたしますと共に、会長のご意向に従って「みさかえの園」の発展の為、私ども皆、



心を一つにしてより一層励んで参りたいと思っております。



みさかえ祭り!

五月二日

むつみの家でもやってくるよ
むつみの家が新施設へ移転して二度目のみさかえ祭りがきました。
今年も晴天に恵まれ、賑やかにみさかえ祭りが始まりました。多くの方が来られてもゆっくり過ごしてもらえようように遮光ネットで陽射し予防をし、
二階訓練ホールでのイベント。一階ディスプレイスペースあぐの喫茶コーナー。
中庭では、食堂やゲームコーナー。
売店では、めぐみの家やのぞみの家の商品などもならびました。特に、皆さんは、手芸品など喜んで買われ求められていました。
今回、四百人ほどの方が足を運んで下さいました。
また、三十名のボランティアの方々に協力してもらい、むつみの家でのみさかえ祭りも盛況でした。



食堂コーナー



ゲームコーナー



喫茶コーナー

(山下孝子)

めぐみの家 第二めぐみの家

めぐみの家の調理現場昨日

栄養士 永淵和子
私ども調理関係者は、めぐみの家一七名(内、小・中・高等学校生五名)、第二めぐみの家七十名の合計八十七名の食事を朝・昼・夕の三食作っています。

“肉が硬い”“南瓜の煮くずれがひどい”などの指摘の中、少しでもおいしく、見た目もよく、食べ易い食事を作りたいというのが皆の食事を担当している私ども調理関係者の願いでした。そこで、何か解決する手立てがないかと思案の中、めぐみの家に新しい調理器具が今年より仲間入りしました。

“スチームコンベクションオーブン”蒸したり、焼いたりする時間が短く、肉の収縮も少ないという歌い文句の優れたものです。

デモンストレーションで焼きそばや肉じゃがを作ってもらい試食しました。「キャベツなどの野菜はきれいなねー!」「肉は柔らかいかしら」「肉じゃがの味はまだ少し浸みてないみたい」などの感想の中、新しい機械の到着です。さあ、使いこなして慣れることが先決。フロッピーの塩茹でを、ゆで卵は…南瓜の煮物は…と毎日レシピ本を見ながらの作業が始まりました。



今までの、調理作業よりもうまくいくところもあれば、焼きそばは、べったりなので回転鍋で炒める方がいいみたいなど、レシピの材料と、めぐみの家での材料が違っているのを、試行錯誤の日々です。四月に入って、もうひとつ新しい機械がやってきました。“温熱庫”が二台です。

温かい食事を提供するため、各テーブルにおひつやお鍋を置いたり、保温食器の一部利用など、狭い調理室と食堂の中で、できるだけのことをしてきました。それでも、特に冬場は、配膳しているおかずの適温での提供ができていない状態でしたので、温熱庫を購入しました。温熱庫は、一台の重さが七〇kgもあり、女性の調理員の方では、四、五kgの段差でも動かすことができます。食堂に置いてそこで使用するだけの状態でしたが、五月に入り、段差も解消してスムーズに調理室と食堂を移動しています。

これらの機械をうまく使いこなし、利用者の皆さんに少しでもおいしく食事を摂って頂けるようにがんばっています。

「フレッシュマン」



めぐみの家へ就職して

保育士 川野綾美

今年度の4月にみさかえの園第二めぐみの家へ就職して1ヶ月がたった。私にとってこの1ヶ月はとても短く、早い1ヶ月であった。一日一日覚える事がたくさんあり、失敗しながらもそれを覚えるのに一生懸命だった。利用者の方々ともふれ合い、その方について知る機会があっても、メモをとることこそ一生懸命になってしまっていた。その上実行へと移すことができず、仕事が終わり家へ帰ると、反省し後悔することが多い1ヶ月であった。

今現在でもそんなことがまだまだあり、毎日が勉強の日々である。しかし、利用者の方々も笑顔で話しかけて下さったりすると、その方々が、施設での暮らしを毎日明るく元気に過ごしているように頑張っていると思う。また私も、一日一日を大切に、たくさんのお話を学んでいきたい。

第二めぐみの家へ就職して



生活支援員 大瀬真祐美

今年4月からみさかえの園第二めぐみの家の採用をいただき働きはじめました。色々と解らないことが多く、職員の方々からご指導いただきながら、一日一日が充実した毎日をおくっています。大学の実習とは違い、職

員になることの責任感や色々覚えることが増え、最初、とまどつことの毎日でした。徐々に仕事にも慣れ、利用者の名前も覚えることができるようになってきました。

これから職員として責任感を持ち、少しでも利用者の気持ちに伝えられる職員になりたいと思います。まだまだ、ご迷惑をおかけすることが多々あると思いますが、今後ともよろしくお願ひします。



生活支援員 辰田智美

みさかえの園第二めぐみの家の職員として働き始めて約1ヶ月が経ちました。やっと利用者の方々の顔と名前を覚え、一日の流れが分かってきたという所で、まだ把握できていない部分が多く、新しく覚える事が一つずつ増えていく毎日を送っています。実際に仕事をすることで、やはり難しい、大変だと感じる事は多いです。中でも、利用者の方一人一人の感情や訴えを理解する事はとても難しく、気持ちに伝えられない事も多くあります。これから、利用者の方と多くの関わりを持つ中で、利用者の方をもっと知り、少しでも気持ちを理解しながら、対応出来る様になりたいと思います。

まだまだ覚える事や勉強しなくてはいけない事は多いですが、頑張っていきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

『音楽のおくりもの』

音楽療法士 武田 光世

『音楽のおくりもの』は、平成十五年より春から初夏の間で一回、クリスマス等の時期に一回、3人の音楽担当スタッフが行っていきます。「日常生活の場」である病棟から出かけ、「いつもとはちがう空間」の中で、利用者も職員も、ゆっくりとした気持ちで過ごしていただくことを目的に、(春風にのせて)、(即興)、(つながる)、(やさしい時間)とテーマを決め、内容や空間を構成、演出しています。

内容は、ピアノやわらべうたなどの演奏/クリスマスや春節祭などの季節の街並の映像と音楽を合わせてスクリーンで流す/絵本の語りに音をつける/ムーブメント…などであり、二台のピアノを使ったり大型スクリーンに映し出すことで「ダイナミックさ」を、また、会場を巻き込んだのムーブメントでは「一体感」などを、そして、一人一人へのうたいかけでは「寄り添っていること」

大型スクリーンで「春節祭」…映像を即興演奏と合わせて楽しめます。



2台のピアノ連弾により音の厚みを感じて…



08年度テーマ「やさしい時間」の装飾やわらかい光につつまれています。



わらべうたのうたいかけ手遊びも一緒に…



などを感じてもらえるように工夫しています。
この『音楽のおくりもの』の時間が、「会場に集まったみんなが一緒に作り出す時間であること」「音楽でつながっていること」を表したいと編集したビデオ(笑顔のリレー)では、利用者の笑顔を音楽に乗せて、スクリーンいっぱいにはびろびろと広がります。
また、会場に入ったときから「わくわく」する空間であるように、照明や装飾による雰囲気作りも大切にしています。コンサート会場へ出かけていくことが難しい方たちにとって、この時間が日常とは少しちがう「特別」な時間になればと考えています。
『音楽のおくりもの』以外の行事でも、演奏を行うことがあります。今年度のみさかえ祭では、中庭などで食事やティータイムを楽しんでおられる利用者やご家族のそばで、アコーディオンなどの演奏をしました。
五月のさわやかな緑と風の中、音の彩りを添えることで「特別」な時間のお手伝いできたのではないかと思います。

今思うこと

木村 トミ

さわやかな五月、十日に障害者のゆうあいスポーツ大会が諫早のグラウンドで開催されました。のぞみの家でも利用者・職員総勢約八十名の方々がそれぞれの種目に参加して、楽しい一日を過ごしました。年々のぞみの家では、すべての行事への参加者が少なくなってきました。この一年、高齢・重度化による入院者、通院者が増え、一年前には想像できない人数になってきています。

日本知的障害者福祉協会の倫理要綱の前文に「知的障害のある人たちが、人間としての尊厳が守られ、豊かな人生を自己実現できるように支援することが私たちの責務です。」とあります。利用者との毎日の生活の中で、利用者の尊厳を傷つけている事がないでしょうか。施設の在り方、施設の役割、施設と家族とのかわり、今、沢山の問題を抱えています。どのようなサービスを提供できるかを考えながら、私たちの今出来ること、役割を考え直していかなければと思います。又「障害者自立支援法三年後の見直し」の時を迎えて、期待と不安にかられています。現実な問題として二十四年四月からの新事業移行に向けて、さて、と考えさせられる問題はかりです。

五月は、マリア様の月。すべてを取り計らってくださいませマリア様とともに、種々の問題を乗り越えていかなければと思っています。



「元気ハツラツ!」のぞみの行事

生活支援員 西山 美香

のぞみの家では、今年度も様々な行事を計画しています。日帰り温泉、喫茶、買い物、映画会、誕生会、季節行事等。昨年度とは一部内容を変更し、利用者の皆さんのニーズや要望に応じたものを企画しています。

日帰り温泉は、遠方から近場へと利用施設を変更しました。移動時間を短縮することによって、身体への負担を軽減し、時間にもゆとりを持てるよう配慮しました。喫茶は、近郊の喫茶店を利用して、ティータイムを満喫し、季節の花や風景を楽しめるようにブチドライブを実施することも可能としています。

誕生会はこれまで、外出して一日を過ごしていましたが、今年度は、のぞみの家の敷地内にある「生活自立訓練棟」(通称「生活ホーム」)を利用することになりました。



生活ホームを利用することによって、外出することが困難であった利用者の方も参加することが可能になり、誕生日を迎えられたことをともに喜び、一緒にお祝いすることが出来ます。また、日常とは異なる環境を味わいながら、楽しいひと時を過ごすことを目的としています。

今年の誕生会では、選択する楽しさを体験していただくと思うています。昼食は、何種類ものお弁当の中から、自分の好きなお弁当を選び、ケーキも好きな種類のケーキやお菓子を選べるようになってきました。飲み物も数種類を準備しておき、色んな種類を楽しめるようにしています。レクリエーションとしては、各種ゲーム、散歩、DVD鑑賞など、その月のグループで決定して実施します。利用者の方々に喜んでいただけるように、利用者の立場に立って考え、より良いかたちでサービスを提供していきたいと思えます。

いつかは お世話になるかも？

理学療法士 熊川健二

車椅子は私達にとって最も身近な装具の一つではないでしょうか。

アメリカの第三二代大統領のフランクリン・D・ルーズベルトが使っていたことでも有名です。彼は、三九歳の時に罹患したポリオの後遺症により歩行障害となりました。公衆の前に立つときには下肢装具を使っていましたが、日常生活では車椅子を利用していました。この当時の車椅子は木製の椅子に車輪を取り付けただけのものでした。まさに移動するための椅子であつたわけです。



ルーズベルト



木製1

一九三七年以降になると鉄パイプと布製のシートを組み合わせ、折りたたむことができる現在の車椅子の原型ともなっている車椅子が製作されるようになりました。そして自動車の普及や世界大戦などによる車椅子需要の拡大を背景に、世界中に急速に普及していくことになりました。しかし、この頃の車椅子はまだ歩行能力を失った人の下肢機能を代償する道具にすぎなかったのです。



木製2

一九七六年のカナダ・トロントで開催されたパラリンピックで初めてスポーツ用の特別な車椅子がお目見えしました。これ以降、陸上競技やバスケットボールなどでスポーツを楽しむ為の、軽快で操作性の高い車椅子の開発が進められていきます。日本では家屋内の段差や狭い廊下などの住



車椅子マラソン

宅事情に加えて、障害をもった人に対する社会的な受け入れの意識が低かった為、普及し始めたのは第二次大戦後二〇年も経過した頃のことです。東京オリリンピック後のパラリンピックを契機に、国産の車椅子が製作されるようになりました。安全性や軽量化、剛性が図られる一方で、車椅子に求められるものも変化していきました。車椅子は単に歩行能力を代償するものから、移動や座位保持、移乗などを快適に行う為の道具としての機能を要求されるようになってきています。当園での実際の使用状況を見ても、食事時間、日中活動や行事などへの参加など、大まかに見ても一日に五〜六時間程度は使用しているのではないのでしょうか。身体に強い変形があつたり、ご自分で姿勢を保持することができないような場合は、より安楽に座っていただけるような配慮が必要となります。『物は過大な応力(ストレス)が生じると破損するが、人

間が過大なストレスを受けると病気になる』という「ストレス」学説があるそうです。座ることが苦痛になるような車椅子は論外ですが、一人一人の使用目的にあつた、あるいは車椅子を使用することで自発性や活動性が高まるような椅子を提供することができればと思っています。



現在の車椅子1



現在の車椅子2



「諫早市
地域自立支援協議会」
について

今回は、昨年度より実施された「諫早市地域自立支援協議会」についてお話したいと思います。

平成十八年に障害者自立支援法が施行され、相談支援事業の充実強化が市町村の責務とされました。諫早市では二〇年八月に「相談支援事業をさらに効果的に実施するため、ニーズや課題について関係機関で協議を行うこと」を目的に「諫早市地域自立支援協議会」が設置されました。会は地域自立支援協議会（代表者会議 年数回）とその実質的な運営を司る運営会議（事務局会議）が月一回開かれます。メンバーは諫早市を中心に相談支援事業所、障害福祉サービス事業、保健、医療、教育、就労、当事者関係などで構成されており、それぞれの専門性を活かされるようになっていきます。

今年度の活動は運営会議で、まず諫早市内の関係事業所にアンケートをとり各事業の相談支援の実施状況や困難事例を挙げてもらうことで、今の諫早市の相談の現状を確認することになりました。アンケート結果を通して、各関係機関の相談支援状況が把握できた事やどの事業所も数多くの様々な困難事例を抱えており、その対応に苦慮されていることがわかりました。困難事例の検討に関しては、専門性を活かしたグループ討議を行い、（スマイルサポートは子育て支援グループ参加）いろいろな立場の人の意見が聞けた事や顔見知りになった事で、今後の連携につながって行けそうです。

今年度、運営会議は四つの部会（①地域移行②就労③子育て④サービス調整）を設置し、さらに課題を掘りさげ具体的な検討を予定しています。

自立支援協議会が障害を持つ方の身近な存在になれたらと思います。

（スマイルサポート徳久伸一郎）

イベント情報 09

第6回 わくわくふれあいフェスタ

みんなおいでよ!



○ランドコーナー



○小中学生の絵作品展



○バザーの様子

7月25日(土)
10:00~15:00

会場；高来ふれあい会館
諫早市高来町黒崎325番地
TEL (0957) 32-3467

今年で6回目を迎え、夏休み恒例のイベントとなり多くの地域の方や学生、ボランティアでにぎわっています。今年も内容盛りだくさんです。みなさん遊びに来て下さい

デイスペース『あん』活動報告

今年は、定員 20 名のうち、生活介護定員 14 名、生活訓練定員 6 名として入浴サービスや送迎便の増加など対応しながら二年目をスタートしました。

「一人一人の出来ること」を大切に、装飾作りやポスター、かご作り、和紙作り、ネット加工などの生産活動をします。今年度も、それぞれの役割が意識づけられ、責任感と意欲にあふれた活動に取り組んでいきたいと思ひます。

みさかえまつり

あんでは喫茶コーナーを担当しました



ケーキセット
コーヒー
紅茶
ジュース

売店



喫茶コーナー、売店
自分の役割に責任をもって受け持つメンバーたち

作業風景 和紙作り



- 自立訓練
- ・売店担当
 - ・ネット加工
 - ・生産（和紙、手芸品）
 - ・第4火曜日調理実習など取り組んでいます

生活介護

- ・四季の装飾作り
- ・和紙作り（紙やぶり）
- ・感覚活動（ペグさし・パズル）など各自にできる役割を見出しながら楽しく取り組んでいます。

いらっしやいませ



- 売店メニュー
- パン（火・水・木・金）
 - カップラーメン
 - お菓子
 - アイスクリーム
 - オリジナル手芸品
 - 和紙

装飾作り

（何色がいいかな～）



社会福祉法人聖家族会

平成 20 年度 決算 報告

貸借対照表					
科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
流動資産		1,793,704,266	流動負債		128,813,523
資固 産定	基本財産	3,466,063,354	固定 資産	長期借入金(整備を含む)	18,000,000
	その他の固定資産	3,308,821,897		引当金	
			純 資 産	その他の固定負債	
				基本金	670,604,429
			積立金	3,039,233,922	
			次期繰越活動 収支差額	4,711,937,643	
			(うち当期繰越 活動収支差額)	-60,335,636	
合 計		8,568,589,517	合 計		8,568,589,517

事業活動(収支)計算書					
科 目		金 額 (円)	科 目		金 額 (円)
人件費支出		2,442,639,443	医療費収入		1,816,498,831
減価償却費		247,671,829	国庫補助金等 特別積立金取崩額		22,480,934
その他の事業 活動支出		616,895,673	その他の事業 活動収入		1,690,065,653
支払利息		1,548,000			
事業活動外支出		0	事業活動外収入		47,843,750
特別支出		365,424,025	特別収入		36,954,166
その他積立金積立額		254,000,000	その他積立金取崩額		50,000,000
次期繰越活動収支差額		4,711,937,643	前期繰越活動収支差額		4,976,273,279

各施設の住所

ホームページ <http://www.misakae.or.jp/>

- めぐみの家・第二めぐみの家
☎859-0167 ☎0957-34-3112
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-10
- むつみの家 ☎859-0164 ☎0957-34-3113
長崎県諫早市小長井町牧 570-1
- のぞみの家 ☎859-0167 ☎0957-34-3114
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-11
- あゆみの家 ☎859-0167 ☎0957-34-3115
長崎県諫早市小長井町遠竹 2727-3
- 法人事務局 ☎859-0167 ☎0957-34-4520
長崎県諫早市小長井町遠竹 2747-6

- 総合相談室 ☎859-0164 ☎0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1
- ♣みさかえの園サテライトセンター
☎859-0117 長崎県諫早市高来町峰 468番地27
相談支援事業所スマイルサポート
TEL 0957-27-7010 FAX 0957-27-7006
みさかえヘルパーステーションひびき
TEL 0957-27-7005 FAX 0957-27-7006
ディスプレイ『あん』 生活介護・生活訓練
☎859-0164 TEL 0957-34-9700
長崎県諫早市小長井町牧 570-1

編集後記

最近、故スピグニエフ・ムイニク神父(通称:ニコニコ神父)様が“「にこにこ」「にこにこ、してよ」”と笑いながら、会う人会う人に挨拶されていたことを思い出します。また、神父様から声をかけられるとニコッとしている私もいましたし、利用者の方はとても喜んでいました。いつも笑ってらした神父様は利用者の人気者でした。ただ笑って挨拶をするだけなんですけど、毎日、会う人会う人に同じようにできることの凄さを感じます。そんな神父様に習っていただけたらなあと思う今日この頃です。(幸)